

関東甲信越支部長活動報告

2012年5月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

アーキテクト・ガーデンが始まりました。約一か月の間に 30 以上のプログラムが関東甲信越支部 10 都県で開催されます。6月26日には本部国際委員会と関東甲信越支部が共催して「外に出よう、日本の建築家」と題したシンポジウムを開催します。国際関連、他支部、他団体から出席していただくパネラーと共に、JIA のこれからの探ります。7月5日には建築家会館大ホールでメインセミナーと懇親会が開催されます。ファッションデザイナー コシノ・ジュンコ先生の講演、おいしい生ハム、チーズ、ワイン、他を用意していますので大勢の参加をお待ちしております。

支部総会、本部総会が無事終了し正式に新年度が始まりました。来年4月には新法人制度での公益社団法人移行が予定されています。建築家は自らを宣伝すべきでなく、きちんとした仕事をしていれば黙っていても仕事に来る・・・今はそんな時代ではありません。市民のニーズを探ること、飛び込んで行ってニーズを作ることには建築家自らのためだけではなく、まさに公益的な活動につながるはずです。これからの10か月間はJIA会員がJIA活動の意義と行動を確認する大事な期間となります。

支部長活動報告

- 7日 国際事業について国際委員長、専務理事他と打ち合わせる。5月中旬に上海で中国北東部フォーラムが開催されるため、上海建築学会との協定書調印、上海、北京の建築界要人と会うことを目的に訪中する予定。UIA大会の成果を継承する事業の一つとしてアジア特に中国のニーズを探り、日中双方にとって実のある交流に繋げる考えだ。
- 9日 今日は支部役員会、支部総会、会員集会、懇親会が開催された。支部総会で活動方針を掲げ、新法人制度の公益社団法人に向けての意義、ミッション、覚悟を述べた。会員集会では本部の会員種別規程類の説明を行った。本部規程類では正会員（法人法上の正社員）に関することが主となり、正会員以外の条項については今後詰められていく支部、地域会の規程類で詳細な規定を決めていく。ただし、支部、地域会の活動を本部が把握するように、全国単一会として法人ガバナンスを厳しく問われる。懇親会では他会

- 代表の来賓者に多数ご列席いただき、盛会な懇親会となった。
- 10日 規程類改定特別委員会を午前中に、午後は第200回理事会が開催された。5月31日の本部総会議案を承認する。
- 13日 成田より上海へ向かう。上海にて赤堀国際委員長、中国語が堪能な伊藤国際委員と合流する。夜、久米設計並びに日建設計の若手駐在員と会食し、中国での仕事の様子を聞く。多くの若い日本人が上海に来ているようだ。
- 14日 JIA 関東甲信越支部と上海建築学会 (ASSC) の友好協定調印のため、上海学会が所在する上海現代設計グループ本社を訪ねる。社屋は24階建ての大規模な建物で、現代設計は4,500名の社員を擁している。まず上海学会から上海来訪について感謝の言葉があり、私からはこの度の協定締結と昨年のUIA大会への参加並びに協力についてお礼を述べた。協定書の調印を終えた後、今後の協力関係について意見交換した。その後、上海建築学会幹事長の叶氏の事務所LDGを訪ね、若手建築家の受入や学生インターンシップの可能性や現在の設計業務等について意見交換した。
- 15日 朝早から中国建築学会(ASC)、上海現代設計公司、同済大学主催、上海建築学会(ASSC)実行組織による「2012中国都市建築文化フォーラム」に出席した。中国建築学会理事長、上海現代設計公司代表、複数の同済大学教授にお会いして今後の交流について意見交換した。欧米を中心とした他国と中国の実績や現状の可能性などを聞くことができ今後の国際事業、国際交流の展開に向けて有意義な訪中になったと思う。
- 18日 JIA 横浜大会実行委員会開催。各プログラムを具体的に時間、場所に割り振り問題点を洗い出す。各主催者にインフォメーションシートの作成を依頼する。11月30日式典の次第や、パーティーアトラクションなどの企画提案がある。
- 21日 国際建築活動支援フォーラム(JSB)WGに出席する。JSBでは若手建築家並びに院生を対象とした国際交流プログラム案が議論されている。上海でのヒアリングを元に事後評価が可能な件数が必要であることを提案する。
- 22日 本部国際委員会が開催される。6月26日に国際委員会と関東甲信越支部共催で、これからの国際事業に関するシンポジウムの開催を予定している。テーマはこれからのJIA海外戦略ビジョンについて。
- 23日 東京建築士会総会懇親会に出席し挨拶する。東京建築士会はこの総会で新定款を決議し、来年4月1日に一般社団法人として再出発する予定。各団体から出席した方々と意見交換する。
- 24日 第2回東京三会建築会議を開催する。今回はJIAが幹事役となり、議題、議事録を作成する。事務所協会は例年8月に東京都並びに国に要望書を出している。例年7件程度の要望を出すのが抽象的な表現が多く、具体的な成果に繋がりにくい。今年は法規制や条例規制などについて具体的に要望を

出したいとの事。士会からは昨日の総会についての報告があり、現在 8
ある支部を新たに設立していく事に力を入れていく。三会合同の活動にも
繋げていきたい。JIA は JIA 登録建築家と士会専攻建築士を参加資格に盛
り込んだ、岐南町コンペについて、資格制度について、デザインビルドに
ついて、国際事業について報告、意見交換する。

31日 朝から第 201 回理事会、臨時理事会、本部総会と続く。総会では会員規程、
会費規程 WG 主査として議案の説明並びに質疑応答を担当。支部、地域会
の位置付けに関する規程類（本部の規程）は夏までに固める事になってい
る。地域サミットや会員集会などを通じて更なる説明をしていきたい。



支部長活動報告 2012年5月
2012年6月10日作成 上浪 寛



「アーキテクト・ガーデン2012」 <http://www.jia-kanto.org/AG2012/>



「一万人の建築家展」 <http://www.10000architects.com/>